

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年2月13日
【四半期会計期間】	第26期第3四半期（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）
【会社名】	メディキット株式会社
【英訳名】	MEDIKIT CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 弘明
【本店の所在の場所】	東京都文京区湯島一丁目13番2号
【電話番号】	(03)3839-8870
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門担当 森 保生
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区湯島一丁目13番2号
【電話番号】	(03)3839-8870
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門担当 森 保生
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第26期 第3四半期連結 累計期間	第26期 第3四半期連結 会計期間	第25期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(千円)	9,478,008	3,398,027	11,926,186
経常利益(千円)	2,195,654	849,568	2,995,835
四半期(当期)純利益(千円)	1,183,746	482,582	1,697,049
純資産額(千円)	-	26,010,396	25,336,225
総資産額(千円)	-	30,187,947	29,600,557
1株当たり純資産額(円)	-	27,795.18	27,074.60
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	1,264.97	515.70	1,805.64
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	86.2	85.6
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,306,336	-	2,034,153
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	5,499,256	-	1,555,513
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	467,309	-	661,198
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	-	10,663,851	15,326,142
従業員数(人)	-	635	569

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	635	(545)
---------	-----	-------

(注) 1. 従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であります。

2. 契約社員、準社員、常用パートは（ ）内に当第3四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載してあります。

(2) 提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	156
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時従業員数は従業員数の100分の10未満であるため、記載していません。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績については、単一セグメントのため品目区分別に記載しております。

品目別	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
人工透析類 (千円)	1,232,180
静脈留置針(麻酔)類 (千円)	589,872
アンギオ類 (千円)	1,164,676
合計 (千円)	2,986,729

- (注) 1. 金額は平均販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社グループは見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績については、単一セグメントのため品目区分別に記載しております。

品目別	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
人工透析類 (千円)	1,473,233
静脈留置針(麻酔)類 (千円)	687,509
アンギオ類 (千円)	1,226,216
その他 (千円)	11,068
合計 (千円)	3,398,027

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結会計期間における我が国経済は、世界的な金融危機の影響を受け、企業業績の先行き不透明感による大規模な生産調整や設備投資の縮小、また、雇用情勢の悪化等により、景気の後退が一段と強まる結果となっております。当社の属する医療関連業界におきましては、急激な国民医療費の増加を抑制し、より良質で効率的な医療を享受する制度を構築する目的で医療制度改革が進展しており、定期的に医療材料の償還価格改定が実施されております。昨年4月にも価格改定が行われており、引続き厳しい状況が続いております。このような事業環境下で、当第3四半期連結会計期間の連結売上高は、3,398,027千円、連結営業利益は、815,726千円、連結経常利益は、849,568千円、連結四半期純利益は、482,582千円となりました。

当社の商品区分である品目別の売上高は、以下の通りであります。

人工透析類におきましては、安全機構付人工透析用留置針の数量増加に伴い、1,473,233千円、静脈留置針類におきましては、止血弁付安全静脈留置針が市場で評価されており、687,509千円となりました。アンギオ類におきましては、海外販売数量の減少等の要因により、1,226,216千円となっております。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、第2四半期会計期間に比べ198,274千円増加し、当第3四半期連結会計期間末には10,663,851千円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は271,863千円となりました。内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益の848,718千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は72,690千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出73,335千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は338千円となりました。内訳は、主に配当金の支払額であります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第3四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、42,774千円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,376,000
計	3,376,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	944,000	944,000	ジャスダック証券取引所	(注)
計	944,000	944,000	-	-

(注) 普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は10株であります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年10月1日～ 平成20年12月31日	-	944,000	-	1,241,250	-	10,378,585

(5)【大株主の状況】

当第3四半期会計期間において、トゥイーディー ブラウン カンパニー・エルエルシーから、平成21年1月7日付の大量保有報告書の写しの送付があり、平成20年12月31日現在で62,415株を保有している旨の報告を受けておりますが、株主名簿の記載内容が確認できないため、当社として実質所有株式数の確認ができません。

なお、トゥイーディー ブラウン カンパニー・エルエルシーの大量保有報告書の写しの内容は以下のとおりであります。

大量保有者 トゥイーディー ブラウン カンパニー・エルエルシー
 住所 350 PARK AVENUE, NEW YORK, NY10022, U.S.A
 保有株券等の数 株式 62,415株
 株券等保有割合 6.61%

(6)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 8,200		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は10株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 935,740	93,574	同上
単元未満株式	普通株式 60		
発行済株式総数	944,000		
総株主の議決権		93,574	

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
メディキット株式会社	東京都文京区湯島一丁目13番2号	8,200	-	8,200	0.87
計	-	8,200	-	8,200	0.87

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	21,980	21,500	21,000	20,590	21,000	20,100	19,200	15,800	15,900
最低(円)	21,000	20,500	19,390	19,110	19,600	18,990	14,500	14,460	14,800

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,665,016	8,829,244
受取手形及び売掛金	3,372,501 ³	2,909,401
有価証券	2,498,835	5,996,898
金銭の信託	500,000	500,000
商品	13,808	19,010
製品	490,789	588,197
原材料	257,564	259,645
仕掛品	798,180	666,938
繰延税金資産	101,632	176,192
その他	132,770	147,478
貸倒引当金	344	298
流動資産合計	20,830,754	20,092,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,911,045 ²	3,049,587 ²
機械装置及び運搬具(純額)	1,103,277 ^{1, 2}	1,365,307 ²
工具、器具及び備品(純額)	1,100,126 ²	1,152,491 ²
土地	1,963,705 ¹	1,974,652 ¹
建設仮勘定	812,472	422,553
有形固定資産合計	7,890,626	7,964,593
無形固定資産		
投資その他の資産	170,678	204,074
投資その他の資産		
投資有価証券	458,270	523,212
長期貸付金	16,003	19,719
保険積立金	102,882	100,979
繰延税金資産	648,862	619,014
その他	69,968	76,370
貸倒引当金	100	115
投資その他の資産合計	1,295,887	1,339,180
固定資産合計	9,357,192	9,507,848
資産合計	30,187,947	29,600,557

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 1,324,149	1,263,237
未払法人税等	286,254	536,266
賞与引当金	133,048	263,616
その他	565,503	360,044
流動負債合計	2,308,955	2,423,164
固定負債		
退職給付引当金	340,049	339,191
役員退職慰労引当金	939,214	921,094
その他	589,332	580,882
固定負債合計	1,868,595	1,841,167
負債合計	4,177,550	4,264,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,250	1,241,250
資本剰余金	10,378,585	10,378,585
利益剰余金	14,591,867	13,876,016
自己株式	190,433	190,344
株主資本合計	26,021,269	25,305,507
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,046	22,772
為替換算調整勘定	4,173	7,945
評価・換算差額等合計	10,872	30,717
純資産合計	26,010,396	25,336,225
負債純資産合計	30,187,947	29,600,557

(2) 【 四半期連結損益計算書 】
 【 第 3 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	9,478,008
売上原価	5,155,762
売上総利益	4,322,246
販売費及び一般管理費	2,225,248
営業利益	2,096,997
営業外収益	
受取利息	64,837
受取配当金	8,120
受取地代家賃	16,876
その他	29,578
営業外収益合計	119,412
営業外費用	
支払利息	10,362
為替差損	9,628
その他	764
営業外費用合計	20,755
経常利益	2,195,654
特別利益	
助成金収入	51,870
その他	3,074
特別利益合計	54,944
特別損失	
固定資産除却損	1,342
固定資産圧縮損	50,326
その他	2,788
特別損失合計	54,457
税金等調整前四半期純利益	2,196,142
法人税、住民税及び事業税	940,614
法人税等調整額	71,781
法人税等合計	1,012,395
四半期純利益	1,183,746

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	3,398,027
売上原価	1,826,744
売上総利益	1,571,283
販売費及び一般管理費	755,556
営業利益	815,726
営業外収益	
受取利息	21,120
受取配当金	3,754
受取地代家賃	3,863
その他	14,199
営業外収益合計	42,938
営業外費用	
支払利息	3,474
為替差損	5,393
その他	228
営業外費用合計	9,096
経常利益	849,568
特別損失	
固定資産除却損	819
その他	29
特別損失合計	849
税金等調整前四半期純利益	848,718
法人税、住民税及び事業税	281,034
法人税等調整額	85,101
法人税等合計	366,135
四半期純利益	482,582

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,196,142
減価償却費	632,489
固定資産除売却損益(は益)	697
退職給付引当金の増減額(は減少)	906
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	18,120
貸倒引当金の増減額(は減少)	31
賞与引当金の増減額(は減少)	130,568
受取利息及び受取配当金	72,957
支払利息	10,362
助成金収入	51,870
固定資産圧縮損	50,326
売上債権の増減額(は増加)	465,802
たな卸資産の増減額(は増加)	30,480
仕入債務の増減額(は減少)	43,220
その他	232,321
小計	2,431,545
利息及び配当金の受取額	67,527
利息の支払額	14,430
法人税等の支払額	1,178,306
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,306,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	10,000,000
定期預金の払戻による収入	5,000,000
有形固定資産の取得による支出	565,360
有形固定資産の売却による収入	18,602
無形固定資産の取得による支出	3,838
貸付金の回収による収入	3,716
保険積立金の積立による支出	1,892
差入保証金の差入による支出	1,743
差入保証金の回収による収入	2,136
助成金による収入	51,870
その他	2,747
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,499,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	467,221
自己株式の取得による支出	88
財務活動によるキャッシュ・フロー	467,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,060
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,662,290
現金及び現金同等物の期首残高	15,326,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,663,851

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
1. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更</p> <p>たな卸資産</p> <p>通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。</p> <p>これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ10,201千円減少しております。</p> <p>(2) 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用</p> <p>第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。</p> <p>これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。</p>

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
棚卸資産の評価方法	<p>当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
<p>1 圧縮記帳 圧縮記帳により次の金額を取得価額から控除しております。</p> <p>機械装置及び運搬具 50,326千円 土地 50,000千円</p> <p>2 有形固定資産の減価償却累計額は、7,602,113千円です。</p> <p>3 四半期連結会計期間末日満期手形 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理について、当第3四半期連結会計期間の末日が金融期間の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当第3四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。</p> <p>受取手形 165,348千円 支払手形 277,634千円</p>	<p>1 圧縮記帳 圧縮記帳により次の金額を取得価額から控除しております。</p> <p>土地 50,000千円</p> <p>2 有形固定資産の減価償却累計額は、7,051,041千円です。</p>

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給料手当 609,976千円 賞与引当金繰入額 60,061千円 役員退職慰労引当金繰入額 18,120千円 退職給付費用 44,589千円</p>

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給料手当 201,046千円 賞与引当金繰入額 60,061千円 役員退職慰労引当金繰入額 11,434千円 退職給付費用 14,860千円</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在) (千円)	
現金及び預金勘定	12,665,016
預入期間が3か月を超える定期預金	5,000,000
有価証券	2,498,835
金銭の信託	500,000
現金及び現金同等物	<u>10,663,851</u>

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 944,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 8,212株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	467,896	500	平成20年3月31日	平成20年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

当連結グループは同一セグメントに属する医療機器の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)

満期保有目的の債券で時価のあるものが、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

	四半期連結貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 国債・地方債等	2,498,835	2,499,626	790
合計	2,498,835	2,499,626	790

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	27,795.18円	1株当たり純資産額	27,074.60円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	1,264.97円	1株当たり四半期純利益金額	515.70円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	1,183,746	482,582
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,183,746	482,582
期中平均株式数(千株)	935	935

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

訴訟

当社及び当社子会社の東郷メディキット株式会社は、アメリカ合衆国ユタ州の会社であるフェイス・メディカル・インコーポレーテッド（以下 P M社という）により、平成20年11月19日、東京地方裁判所において特許権侵害訴訟を提起されました。

P M社は、当社及び当社の上記子会社が製造販売する静脈留置針の一部製品が、P M社の特許権を侵害しているとして、同製品の製造・販売の差止、ならびに当社及び当社の上記子会社が連帯して1億3,800万円の損害賠償することを請求しております。

当社は、特許権の侵害はないことを主張しております。当社は、P M社の特許は無効とされるべきものであると考えており、平成21年1月21日、特許庁に当該特許の無効審判請求を行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月12日

メディキット株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大橋 洋 史 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 湯 浅 信 好 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているメディキット株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、メディキット株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。